

# 式 辞

紫陽花の花の紫が日に日に深まるこの良き日に新入生保護者の皆様をお迎えし、第三十九回稲浜中学校入学式を挙げていただけますことを、心より感謝申し上げます。午後の開催となり暑さが身体に伝えます。直射日光が当たる場合は、席を移動するなどのご対応をお願いします。また、マスクをしていますので、くれぐれも熱中症には気を付けてください。

新入生のみなさん今日は、少し時期が遅くなりましたが、ご入学おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月3日より市内の学校は一斉休校となり、みなさんの小学校の卒業式も少し寂しいものになりました。それに加えて4月7日に緊急事態宣言が発令されたため、楽しみにしていた中学校生活が中々始まらず更に我慢を強いられることになりました。しかし、ここにいる皆さんは、この難局に対して我慢に我慢を重ね、耐えてきました。立派です。皆さんは人として、大きく成長するための非常に重要なものをこの経験から手に入れたと思います。

さて、分散登校を経て、すでに数日、中学校に登校してきましたが、昨日から本格的に中学校生活が始まりました。中学校に足を踏み入れた今の気持ちはどうでしょうか。先ほど呼名をしてくれた新しい担任の先生の印象はどうか。これから中学校生活を共にする新しい学級の友達はどうですか。この出会いは、お互いが選んで決まったわけではなく偶然決まったものです。それが新しい出会いというものです。その偶然の出会いを幸運な出会いに変えていくのは皆さん自身です。

私は、稲浜中学校の生徒達にこんな話をよくします。「過去は変えられないけど、未来は変えられる。新しい自分になれる。」という事です。

人は過ぎてしまったことについて、「あの時にああすれば、こうすれば良かったかも。」と思うときがあります。この事は悪い事ではありません。自分を振り返って反省をしているからです。大切な事は、いつまでもそれをくよくよと考えたり、同じ過ちを何度も繰り返さないことです。

過ぎてしまった過去は変わらないのです。「それなら、これからは、この次はこうしよう。」これからと考えて、道を前に進んでいくことで、自分の未来は過去よりも必ず良くなるはずです。

新しい自分になる秘訣を一つ教えます。それは、「自分で自分に限界を決めないこと。」です。自分が出来るのか出来ないかは分からないけれど精一杯に挑戦してみると出来る事は多いものです。また、全力で一生懸命に取り組んだことは、例え失敗したとしても、その経験はこれから生かすことが出来ます。成功体験だけではなく、失敗をし、苦勞をした経験を生かし、人は逞しく成長していくのです。

しかし、頑張っていると、辛い思いをすることや、友達と考えが合わずに、けんかをするのが必ずあります。その時は誰かに相談することが大切です。私達には必ず自分のことを心配し、支え、励まし、良い解決策を教えてくれる人がいます。皆さんには、入学を待ちわびていた2年生、3年生の先輩達もいます。稲浜中学校の伝統の一つに、先輩と後輩の仲が良い事があげられ

ます。困った時は先輩達を頼ってください。

そして、私たち稲浜中の教職員一同も新入生のみなさんを支えていきます。安心してください。

改めまして、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。今日まで本当に落ち着かない日々を過ごされたことと思います。現在も新型コロナウイルス感染拡大防止のために三密を避け、ソーシャルディスタンスを心掛け、消毒や手洗いの徹底が求められるなど「学校の新しい生活様式」に慣れることが求められ、以前と同じ生活には戻ってはいません。学校生活が以前のように戻るには、まだ時間がかかる事でしょう。しかし、このような時だからこそ、できないことばかりを考えるのではなく、今の状況だからこそできることを考えながら前向きに中学校生活を進めていきたいと考えています。職員一同、心をひとつにし、「チーム稲浜」を合言葉に努力いたしますので、ぜひ皆様の学校への深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和2年6月9日

千葉市立稲浜中学校長 川崎 康範